

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~6日	1月 ~13日	1月 ~20日	1月 ~27日	2月 ~3日	2月 ~10日	2月 ~17日	2月 ~24日	3月 ~3日	3月 ~10日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	5	18	21	12	12	12	15	7	0 (22)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	11	30	27	17	23	24	20	14	14	9
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	0	3	2	0	0	0	2	1	0	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	2	4	3	1	3	3	0	3	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	3	7	6	6	4	5	2	5	6	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	5	9	7	2	4	8	6	5	0	3

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

平成31年第10週(3月4日~3月10日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			3		4		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	1	レジオネラ症	1						1	
五類全数	21	アメーバ赤痢	1	1						
		ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1				1			
		急性脳炎	3				2	1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		侵襲性肺炎球菌感染症	3					3		
		後天性免疫不全症候群	1			1				
		梅毒	5				1	4		
		播種性クリプトコックス症	1					1		
		百日咳	4							3
風しん	1		1							

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第10週 3/4~3/10)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

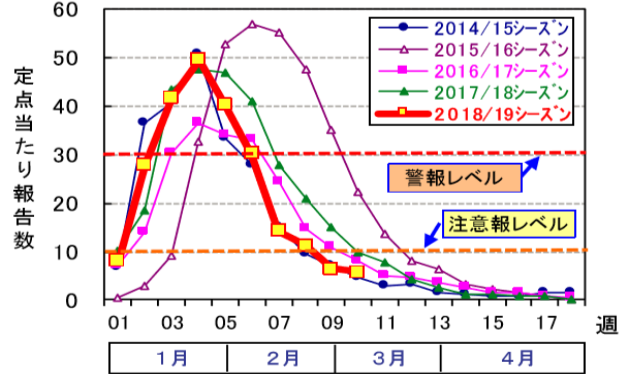
1. インフルエンザ

定点当たり5.73人の報告がありました。報告数は減少していますが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は4件報告されており、引き続き注意が必要です。健康管理に注意し、手洗いや咳エチケットの励行など感染予防対策を心がけましょう。

2. 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、小児科定点から定点当たり9.13人の報告がありました。ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、基幹定点から2人の報告がありました。例年、乳幼児を中心に、3月から5月にかけてロタウイルスによる感染性胃腸炎が多くなる傾向にあります。手洗いやオムツの適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	212	5.73	11.85	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.83	
	咽頭結膜熱	2	0.08	0.32			RSウイルス感染症	6	0.25	0.20	▽
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	2.67	2.82	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	219	9.13	9.23	◇		流行性角結膜炎	3	0.38	0.33	
	水痘	4	0.17	0.36		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.13			無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	7	0.29	0.32	▽		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.12	
	突発性発しん	7	0.29	0.37			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	1.00	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	37	男性(40歳代)、男性(50歳代)、男性(70歳代)、女性(80歳代)
5	ウイルス性肝炎	1	2	女性(20歳代)・B型・推定感染地域: 国外
5	急性脳炎	2	6	女性(10歳未満)、女性(80歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	3	8	女性(10歳未満)・1人、男性(70歳代)・2人
5	梅毒	4	16	男性(20歳代)、女性(20歳代)、男性(30歳代)、女性(40歳代)
5	播種性クリプトコックス症	1	1	女性(80歳代)
5	百日咳	1	11	男性(10歳未満)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.0) 発疹 肺炎	7	男	2019/01/10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	0	男	2019/01/20	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0)	0	男	2019/01/22	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.8) 鼻炎	6	女	2019/01/30	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱 熱性痙攣	1	女	2019/01/30	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.0) 上気道炎 鼻炎	4	男	2019/02/02	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(39.0) 鼻炎	2	男	2019/02/03	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(38.6) 咽頭炎 頭痛 関節痛	56	女	2019/02/04	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
流行性耳下腺炎	耳下腺腫脹	5	女	2019/01/30	唾液	ムンプスウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 バラ疹 細気管支炎	1	男	2019/01/19	咽頭拭い液 鼻汁	ライノウイルス RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 丘疹 紅斑 気管支炎 肝機能障害	1	男	2019/01/23	鼻汁	ヒコロナウイルスOC43

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載